

2016年10月11日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の安全情報(2016年43号)

リオデジャネイロ市内南部地区(ゾナ・スール)で激しい銃撃戦が発生

当地主要紙オ・グローボによれば、10日(月)午前中、多くの邦人が居住するコパカバーナ地区とイパネマ地区の間に所在するファベラ(スラム街)で激しい銃撃戦が発生し、周辺は警察により長時間にわたって封鎖されたほか、地下鉄駅へのアクセスも一定時間不可となるなど大きな混乱が生じました。

1 発生日時

10月10日(月)午前9時頃から午後5時頃までの間

2 発生場所

パバオン・パバオンジーニョ及びカンタガーロ・ファベラ内

3 状況

- (1) 10日午前9時頃から、リオ市南部地区のコパカバーナ地区とイパネマ地区との間に所在するパバオン・パバオンジーニョ及びカンタガーロ・ファベラにおいて、麻薬密売組織と警察の間で激しい銃撃戦が発生し、3人が死亡、5人が負傷した。負傷者のうち3人は警察官であった。
- (2) 警察により、周辺の主要幹線道路であるトネレロ(Toneleiro)通りのトンネルが封鎖され、コパカバーナ地区からイパネマ地区へのアクセスが困難となったほか、イパネマ地区のジェネラル・オゾーリオ駅も午後3時30分から約1時間閉鎖された。コパカバーナ地区の閉鎖は銃撃戦が終了した午後5時頃まで続いた。
- (3) 麻薬密売組織がパバオン・パバオンジーニョ及びカンタガーロのUPP(州軍警察平和構築部隊)の駐留所を同時に攻撃したことが引き金で銃撃戦が始まった。同所の麻薬密売組織のナンバー2であるSamuel de Freitas e Silvaが今回のUPPへの攻撃を企てたとみられ、州軍警察は、特殊部隊等を投入し、長時間にわたって作戦を実行した結果、上記Samuelを含む8人を逮捕するとともに、長銃6丁、拳銃1丁、麻薬及び無線機を押収した。

以下ニュースサイト(G1)参照

<http://g1.globo.com/rio-de-janeiro/noticia/2016/10/policiamento-segue-reforcado-em-ruas-de-copacabana-apos-tiroteio.html>

【当館から】

コパカバーナ、イパネマ地区は多くの日本人が居住し、比較的治安の良いとされている地区ではありますが、周辺には複数のファベラが存在するほか、商店街においても、けん銃使用の強盗等事件から銃撃戦に発展するケースが散見されますので、外出の際には常に警戒心を持って行動するようにしてください。

- (1) 常に周囲に気を配り、危険を感じたら安全を確保する退避行動を取りましょう。
- (2) 銃声を聞いた場合は可能な限り低い姿勢を取り、不用意に動かないようにしましょう。